

# ガンクリーナー



## スプレーガン用クリーナー

ネオリバーガンクリーナーは塗装用スプレーガンのカップに付着した塗料やノズル内部に固着した塗料を除去するのに最適の洗浄剤です。

特に、硬化剤を使用する2液タイプの塗料の除去に対して強力な除去性能を発揮します。中性タイプで、水を液表面に張る事により蒸発を抑制します。又、不燃性でシンナーに比べて安全です。

一般塗膜のはく離にも、効力を発揮します。

性 状	1. 外観	無色透明液体
	2. 臭気	溶剤臭
	3. pH	9.0±1.0 (20℃ 50%水溶液)
	4. 比重	1.29±0.02 (20℃)
	5. 燃焼性	なし
	6. 金属腐食性	通常使用の金属に対し、影響ほとんど無し

はく離性能	有効塗膜	アクリル・ウレタン樹脂系、メラミン樹脂系塗膜等
	参考はく離時間	10分～ ※塗膜厚みは標準1回塗りの厚みを標準とする。 ※多層塗膜の場合は60分～

- 使用 方法
1. 適合した材質のはく離槽にガンクリーナーを投入して下さい。その後水を入れ、3～5cm厚みの水の膜を作して下さい。最初は白濁しますが、暫くすると上下2層に別れます。
  2. 被はく離物は下層のはく離剤部分に完全に浸漬し、塗膜が軟化膨潤するか、浮き上るのを確認してから引き上げて下さい。
  3. 槽から引き上げる時には、はく離液の液切りを十分にして下さい。その後エアーを通し、塗膜を除去して下さい。出来ればシンナーで空吹きして下さい。
  4. はく離不十分で再度浸漬する場合は、被はく離物の水分を出来るだけ取り除いて下さい。多量の水分の混入ははく離力の低下を起す場合があります。

残存塗膜が薄い時はガンカップにガンクリーナーを1/3ほど入れ10分間静置後エアーを通す、を繰り返しても可能な場合があります。

荷 姿	20kg	18Lポリ内装石油缶
	4kg	4kg角缶 (4缶入り ダンボールケース)



## 三彩化工株式会社

<http://www.sansai.com>

ISO 9001・14001 認証取得

本社・工場 〒531-0076 大阪市北区大淀中 3-5-30  
大阪(営) TEL 06-6451-7851(代) FAX 06-6451-1187  
東京(営) 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8-7-20  
TEL 03-3371-3681(代) FAX 03-3366-1865  
名古屋(営) 〒454-0013 名古屋市中川区八熊 1-3-10  
TEL 052-321-2051(代) FAX 052-322-3790  
広島(駐) TEL 090-3357-9824

# ガンクリーナー

## 作業上の注意

1. 容器のキャップを取る時噴出す場合があります。ウエス等で覆い、ガスを抜いてからキャップをお取り下さい。特に気温の高い時、室内等で温度の高い時は内圧が上昇していますので確実に実行して下さい。
2. はく離槽の材質は、構造用鋼、ステンレス鋼（304, 316）またはポリエチレン製が最適です。
3. はく離槽内に適合した材質の籠（バケツ）を用意し、この中に被処理物を入れ籠のまま浸漬し、はく離を待つて引き上げると能率的です。
4. 取扱の際は、手袋、保護眼鏡、エプロン等の保護具を着用して下さい。皮膚に付着しますと刺激痛があり、火傷のような脱水症状になる場合があります。  
又麻醉性のある有機溶剤を含有していますので、使用・取扱場所は風通しのよい場所か、必要な換気装置を設置して下さい。ガスは空気より重たく下に溜まりますので、ピット内では換気は欠かせません。
5. 作業時以外は槽にフタをして蒸発を防いで下さい。
6. 槽内に塗膜カスが増えますとはく離力が低下し、液寿命を短くします。定期的に塗膜カスを除去して下さい。
7. ほとんどのプラスチック、ゴム類を侵す傾向があります。ガンのシール、パッキンの素材を確認して下さい。又ははく離作業個所周辺の構築物等も確認して下さい。
8. 水洗時に規制対象物質ジクロロメタンが混入される場合があります。  
回収されたはく離塗膜と使用済みはく離剤は有資格産業廃棄物業者にて処理願います。

## 緊急時の措置

かかった場合 : 上水道等の清浄な水で15分以上洗い流してください。その後医師の手当を受ける。

吸い込んだ場合 : 新鮮な空気の場所に搬送する。暖かくし、安静にさせて医師の手当を受ける。

## 主な適用法令

労働安全衛生法: 該当

- ・特定化学物質 第2類: ジクロロメタン
- ・その他(SDSにて確認ください)

化学物質管理促進(PRTR)法: ジクロロメタン

廃棄物処理法

特別管理産業廃棄物: ジクロロメタン

水質汚濁防止法

有害物質: ジクロロメタン,

その他の適用法令及び詳細な注意事項につきましては SDS をご参照ください